

## 令和6年度 三校合同課題研究発表会（1・2年探究科学科）

令和6年12月22日（日）、探究科学科のある本校、富山高校、富山中部高校の三校による課題研究発表会が、富山国際会議場で開催されました。三校の探究科学科1・2年生や教員、指導を仰いでいる大学教員のほか、他校中・高校生や保護者も多数観覧しました。今年度も熱気あふれる発表会となりました。

開会式の後、三校の代表班が順にステージ上で発表しました。トップバッターの高岡高校は、情報2班が「集中測定中 ～加速度センサで見る姿勢と集中力の関係～」を発表しました。続いて富山高校英語班が「Mission Impossible ～日本の英語教育はキャパオーバー!?!～」、最後に富山中部高校化学5班が「拡散しない指示薬 ～eco-friendly...ってこと!?!」をテーマに、プレゼンテーションを行いました。発表後には、研究方法や研究結果に対しての疑問や、補足説明を求める質問等が次々と出され、活発な質疑応答が行われました。

午後からは、59班が各2回、交代でポスターセッションを行いました。発表者は、研究の成果をポスターだけではなく、タブレットや自作の資料等を用いて、熱心に発表していました。質疑応答では、高校生だけでなく一般の方からも鋭い質問があり、発表者にとって研究を深化させるための大きな刺激になっていました。

閉会式ではまず、各校代表生徒による感想発表がありました。この1日で得たことや感じたことその他、4月から取り組んできた課題研究に対する思い、共に高め合える仲間への感謝などが述べられました。その後、理系分野は富山大学の杉浦幸之助教授から、人文系分野は富山大学の宮城信准教授から講評をいただき、探究活動の意義や大切さを再認識することができました。

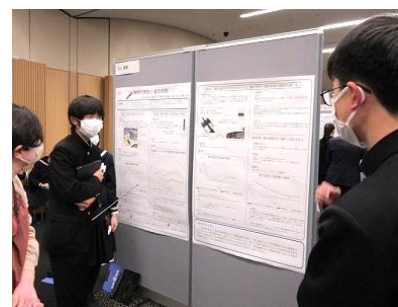
### <生徒の感想>

- ・1年後、こんなに上手く発表できるのかと少し不安になった。もっと深く学んで知見を広げ、まずは研究したい課題を見つきたい。(1年)
- ・どの発表も興味深かった。私も、身近なところから疑問を発見し、それを究明していく”探究精神”を身につけていきたい。(1年)
- ・文字量が少なくても分かりやすいポスターが多かった。どの班も新しい視点から物事を考えており、発想力が素晴らしいと思った。(2年)
- ・聴衆を意識しながらプレゼンしていて、伝わるような話し方、構成を工夫していた。ポスター以外にも沢山の資料を準備していて、初めてその分野に触れる人にも分かりやすかった。(2年)
- ・ポスターの内容にとどまらず、別の視点から結果を捉えて質問していた人が何人もいた。発表を受け身的に聞いていた自分は、はっとさせられた。(2年)

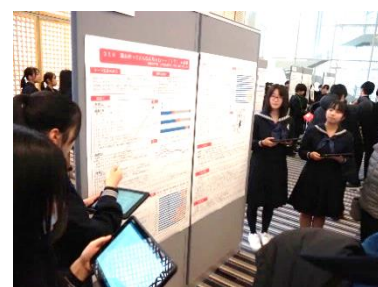
掲載



学校代表  
情報2班の発表の様子



物理2班の発表  
「物質の密度と遮音効果」



国語1班  
「富山弃ってどんなんちゃむ～!?!」 in 呉西